だいすけ
https://www.instagram.com/daisuke23888/

https://www.youtube.com/@ScientificJapanese

2026 年 11 月 18 日

科學日文聽力練習 推敲結果

— Session 117 —

https://meet.google.com/wja-vwur-xdc

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - アントシアニンは活性酸素の働きを抑える抗酸化作用があり、細胞膜や遺伝子をダメージから守ってくれるため、健康に非常に良いとされています。
- 推敲後
  - アントシアニン には 活性酸素の働きを抑える抗酸化作用があり、細胞膜や遺伝子をダメージから守ってくれるため、健康に非常に良いとされています。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - そして、果物を食べることで、そうしたダメージを防ぐことができるのです。
- 推敲後
  - そして、果物や野菜を食べることで、そうしたダメージを防ぐことができるのです。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - アントシアニンは、いちごやりんご、ごナスの皮、紫キャベツなどの植物に多く含まれる成分です。
- 推敲後
  - アントシアニンは、いちごやりんご、ナスの皮、紫キャベツなどの植物に多く含まれる成分です。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - また、酸性かアルカリ性かによって色が変わるの特徴です。
- 推敲後
  - また、酸性かアルカリ性かによって色が変わるのが特徴です。
- 解説
  - または、「また、酸性かアルカリ性かによって色が変わるという特徴があります。」。

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 活性酸素が増えすぎると、細胞の膜などが傷つける、ダメージを与えます。
- 推敲後
  - 活性酸素が増えすぎると、細胞の膜などが傷つき、ダメージを受けます。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - そのため、日頃から鮮やかな野菜や果物を食べることが大切です。
- 推敲後
  - そのため、日頃から鮮やかな 色の 野菜や果物を食べることが大切です。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 波長が短いの青い光は、空気中の窒素や酸素の分子で四方八方に散乱されるため、空が青く見えます。
- 推敲後
  - 波長が 短い 青い光は、空気中の窒素や酸素の分子 により 四方八方に散乱されるため、空が青く見えます。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 太陽が低くなって光が大気中を通る距離が長くなり、波長の短い青い光が途中で散乱されて消え、散乱されにくい赤い光だけが目に届くからです。
- 推敲後
  - 太陽が低くなって光が大気中を通る距離が長くなると、波長の短い青い光が途中で散乱されて消え、散乱されにくい赤い光だけが目に届きます。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 2026 年ノーベル化学賞は、不斉有機合成における非線形効果と自己触媒の発見したケーガン教授と硤合教授に授与されました。
- 推敲後
  - 2026 年ノーベル化学賞は、不斉有機合成における非線形効果と自己触媒 を 発見したケーガン教授と硤合教授に授与されました。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 生命のアミノ酸が片方に偏る謎に対し、ケーガン教授は触媒の偏りよりも生成物の偏りのほうが大きくなる場合があることを実験で示しました。
- 推敲後
  - 生命が利用するアミノ酸は鏡像異性体の片方に偏っているという謎があります。ケーガン教授は触媒の偏りよりも生成物の偏りのほうが大きくなる場合があることを実験で示しました。これが非線形効果です。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/

前回の作文の推敲

- 推敲前
  - 一方、硤合教授は、ピリミジルアルカノールという化合物の合成で、生成物自身が触媒として働く不斉自己触媒反応を発見しました。
- 推敲後
  - 一方、硤合教授は、ピリミジルアルカノールという化合物の合成において、生成物自身が触媒として働く不斉自己触媒反応を発見しました。
- 解説
  -

https://www.instagram.com/daisuke23888/